

食品保健指導士 養成講習会

受講資格に「登録販売者」が加わりました

インターネットライブ配信(Zoom)及びスクール形式

(状況によりライブ配信のみに変更させていただく場合があります)

厚生労働省の通知に沿ったプログラム構成です。

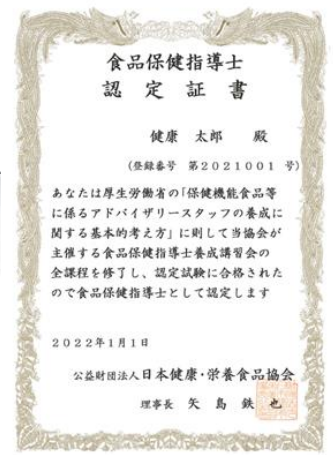
広い知識でお客様への適切なアドバイスにお役立てください！

★2021年10月20日(水)～10月23日(土)

*受講後2週間のオンデマンド配信で繰り返しご覧いただけます

★受講料 会員 79,500 円、一般 96,360 円(税込)

認定証書とカードを発行



『食品保健指導士』とは？

- 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会が認定する『アドバイザースタッフ』のことで、健康食品についての正確な情報を消費者に提供できるスペシャリストです。
- 講習会を受講後、認定試験に合格した方は『食品保健指導士』として認定されます。
- 消費者に対する、健康食品や保健機能食品などに関する相談・指導などや、企業においては 関連法規の把握や遵守、必要表示事項の徹底などについて、専門知識を生かした現場で活躍しています。

= 受講資格 =

- ① 高等学校以上を卒業し、健康食品の製造や販売(薬局やドラッグストア)に携わる方、お客様相談室等で消費者の相談に携わるなど、これらの関連業務に従事している又は従事した方。
* 但し、関連業務の従事期間が通算2年未満の者にあつては、修了評価認定試験合格後、関連業務への従事期間が2年経過した時点で食品保健指導士として登録する。
- ② 医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、管理栄養士、栄養士、看護師、保健師、助産師、臨床検査技師及び登録販売者又はこれらに相当すると認められる者
- ③ 上記①～②の要件を満たさないが、当協会理事長が受講能力を有すると認めた方。

～資格認定・更新までの流れ～

講習会受講 (4日間・29時間) ・受講後、2週間のオンデマンド配信あり	受講料(税込)	会員 79,530 円 一般 96,360 円
修了評価認定試験 小論文：必須3問、選択3問 回答期間3週間 短答式問題：57問	受験料(税込)	8,360 円
認定試験合格	不合格となった場合には再試験の制度があります	
認定登録 認定証書・認定カード交付	認定登録料(税込)	2,200 円
5年毎に更新 更新単位を10単位取得する	認定資格更新手数料(税込)	2,200 円

講習内容 ☆ 著名な講師陣により総合的な知識を得る事ができます ☆

1	健康食品とは	当協会 常務理事	青山 充
2	食品成分の機能性	当協会 機能性食品部長	菊地 範昭
3	健康増進・免疫能の獲得と健康食品の活用	帝京平成大学 教授	児玉 浩子 先生
4	栄養状態の評価（栄養アセスメントとは）	神奈川県立保健福祉大学 学長	中村 丁次 先生
5	食事摂取基準と栄養補給		
6	臨床栄養学・病態栄養学	長野県立大学 教授	川島由起子 先生
7	食品成分の利用効率と体内代謝	東京大学 名誉教授 東京農業大学 客員教授	清水 誠 先生
8	医薬品医療機器等法、健康増進法	当協会 健康食品部 参与	原田 典子
9	消費者安全法、消費者契約法、景品表示法、 特定商取引法、製造物責任法	千葉大学大学院 教授	岡林 伸幸 先生
10	食品衛生法、食品衛生管理、製造・品質管理	(公社)日本食品衛生協会 専務理事	桑崎 俊昭 先生
11	リスクアナリシスによる食品の安全性確保	国立食品医薬品衛生研究所 部長	畝山智香子 先生
12	リスクコミュニケーションの理論と実際	食品保健科学情報交流協議会 顧問	関澤 純 先生
13	特定保健用食品制度と普及開発	当協会 特定保健用食品部技術部会	福山 勝実 先生
14	健康食品の相互作用	(株)皇漢薬品研究所 室長	早川 明夫 先生
15	食品の健康強調表示と科学的根拠	当協会 特定保健用食品部長	土田 博
16	食品表示法	(公財)日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会 専門委員	蒲生恵美 先生
17	健康食品の企画、開発、流通	サントリーウエルネス(株) 課長	櫻井 護 先生
18	生活習慣病予備軍における健康補助食品の利用	淑徳大学 教授	藤谷 朝実 先生
19	保健機能食品（栄養機能食品）、特別用途食品の活用		
20	食品保健の概念、健康増進への健康食品の利用	医療法人社団千禮会 理事長	信川 益明 先生
21	健康食品の安全性（安全・安心な製品の提供）	アサヒグループ食品(株) 部長	稲村 伸二 先生

* 講師は変更になる場合があります。

食品の安全性や機能性・有用性等は科学の進歩により新たな知見が生まれ、それによって様々なものが市場に流通し、また食品衛生、表示事項などの法規等も、時代のニーズに対応した変更がなされております。そうした変化に対応するためにも食品保健指導士は日々研鑽し、正しい知識、科学的根拠等を蓄えておく必要があります。

「食品保健指導士」資格は変化に対応できる人材を育成するために「更新制」を導入しております。

更新の条件は5年間で10単位を取得することとしており、単位となるセミナー受講等は当協会及び食品保健指導士会主催のものだけでなく、食品保健に関連する学会への参加などによっても取得できるものとし、多くの関連する知識の習得を目指しています。

- ◆お申込み ; 「募集要項」をご覧の上、受講願書をご記入・ご郵送ください。
当協会のホームページにも「募集要項」「受講願書」がございます。
詳細はこちら ; <https://www.jhnfa.org/52-boshyu.pdf>

締め切り 10月12日(火)

送付先 ; 〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 2-7-27

公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 研修企画部 教育研修担当

- ◆お問い合わせ ; kensyu@jhnfa.org TEL03-3268-3160